



OPCTV

オプション倶楽部TV

【売坊流】グレイ・リノ分析（25年6月）

無駄遣いの政治が 日本の衰退を不可避に

この番組では皆様の投資やトレードに役立ち
そうなイベント、**グレイ・リノ**、異常値分析
について紹介していきます！



OP売坊

©2019-2025 OP売坊



OP売坊のグレイ・リノ

サイは普段おとなしいが
怒ると、とっても怖いのだ

- 🐘 気候変動による食料価格高騰・食料危機
- 🐘 地政学的リスクの複雑化（ウクライナ・**中東**・台湾情勢など）
- 🐘 日米欧中の経済政策不確実性上昇・債務増・増税懸念
- 🐘 日独仏韓の政治機能不全で国債格下げも
- 🐘 トランプ政権、グローバリスト、BRICSプラスの勢力争い
- 🐘 トランプ政権の政策
- 🐘 米ドル没落と金・銀・白金逃避の加速
- 🐘 米国の景気後退入りとインフレ再加速＝スタグフレーション
- 🐘 日本の人口減加速と移民急増
- 🐘 **日米政治倫理観の低下**
- 🐘 **日本のインフラ・システムIT脆弱性と生産性低下**
- 🐘 **日本のインフレと（超）長期日本国債利回りの急上昇**
- 🐘 中国の不動産バブル崩壊・経済崩壊懸念・人口流失
- 🐘 **バフェット指数（株式時価総額÷名目GDP）の異常値**
 米国：**198.9**（6月20日概算）←209.3（1月23日概算）
 日本：**175.3**（6月20日概算）←183.4（1月6日概算）



日本では国会審議もなく閣議決定で物事が進んでいく状況が続いています。また、裏金問題、公職選挙法違反疑惑、森山幹事長の豪邸無登記、小泉農相の一民間企業宣伝など、倫理観の低下を感じさせる事象がたくさんあります

など

グレイ・リノ（灰色のサイ）とは、高い確率で大きな問題を引き起こすと考えられるにも関わらず、軽視されている事象のこと。それが**起これば大きな値幅が出る**ため、OPトレーダーに重要となる。特に**PUT買い**を仕掛けられる可能性や、破産もあり得る**PUT売り**を避けられる可能性が高くなる。



日本経済のかなり厳しい将来予測

一人当たりの名目GDP国別ランキング（万米ドル）

順位	2024年		順位	75年	
1	ルクセンブルク	10.49	1	ルクセンブルク	23.62
2	アイルランド	8.79	2	アイルランド	18.37
3	スイス	8.32	3	スイス	15.78
4	シンガポール	7.33	4	ノルウェー	14.46
6	米国	6.69	5	米国	14.44
25	韓国	2.97	21	韓国	7.92
29	日本	2.79	42	ロシア	4.72
47	ロシア	1.18	45	日本	4.58

（注）日本経済研究センター推計、17年実質価格で換算

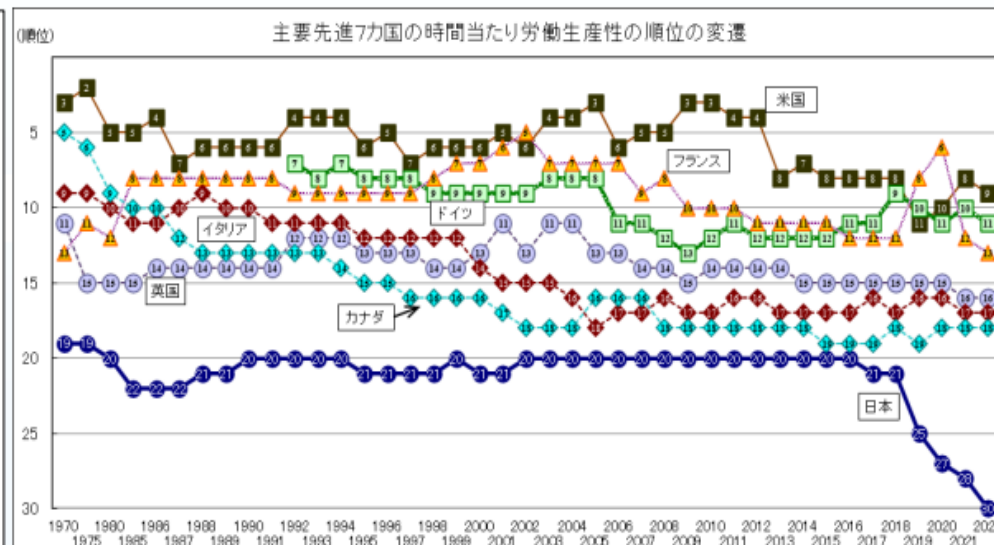
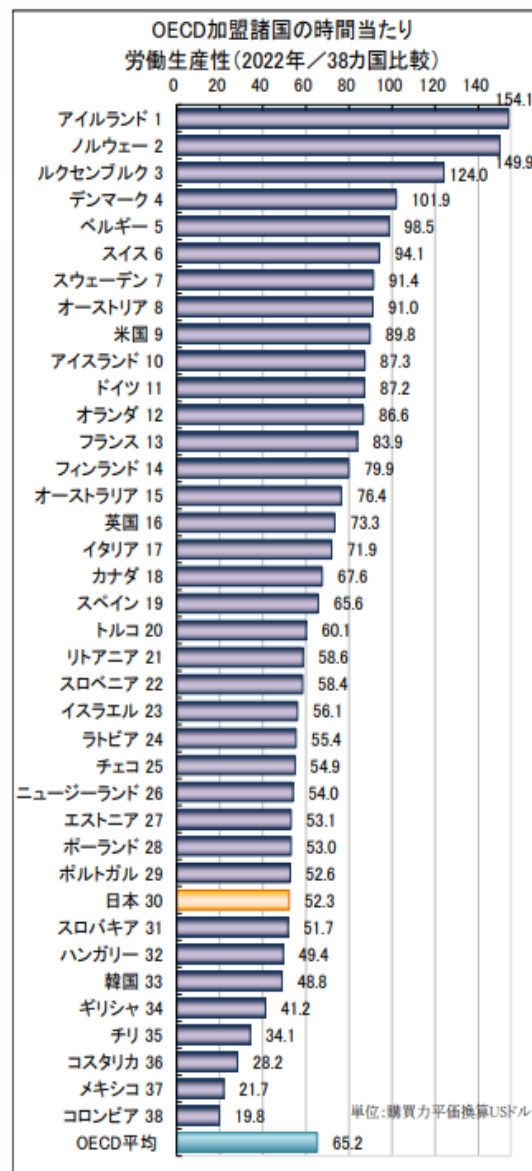
日本経済研究センター（日本経済新聞系のシンクタンク）によると、**国民一人あたりの経済活動の規模を示す「一人当たりの名目GDP（国内総生産）」**が30年後の2075年には、さらに順位を落とすと予測されています

生産性の低下や人口減による諸問題が解決どころか悪化しており、円安の進行も影響しているのだと思います



日本の労働生産性も劣位に

OECD加盟国の時間当たり労働生産性（2022年）と主要7国の順位変遷



時間当たり労働生産性 上位10カ国の変遷

	1970年	1980年	1990年	2000年	2010年	2020年	2022年
1	スイス	スイス	ルクセンブルク	ルクセンブルク	ルクセンブルク	アイルランド	アイルランド
2	ルクセンブルク	ルクセンブルク	ドイツ	ノルウェー	ノルウェー	ルクセンブルク	ノルウェー
3	米国	オランダ	オランダ	ベルギー	米国	ベルギー	ルクセンブルク
4	スウェーデン	スウェーデン	ベルギー	オランダ	アイルランド	ノルウェー	デンマーク
5	カナダ	米国	スイス	スウェーデン	ベルギー	デンマーク	ベルギー
6	オランダ	ベルギー	米国	米国	デンマーク	フランス	スイス
7	オーストラリア	ドイツ	スウェーデン	フランス	スウェーデン	オーストリア	スウェーデン
8	ベルギー	アイスランド	フランス	スイス	オランダ	スウェーデン	オーストリア
9	イタリア	カナダ	ノルウェー	ドイツ	スイス	スイス	米国
10	デンマーク	イタリア	イタリア	デンマーク	フランス	米国	アイスランド
-	日本 (19位)	日本 (20位)	日本 (20位)	日本 (21位)	日本 (20位)	日本 (27位)	日本 (30位)

(資料) 2023年12月8日時点でOECD等が公表していたデータに基づいて日本生産性本部作成。日本のGDPは、内閣府が12月8日公表の年次推計を反映している。1991年以前のドイツは西ドイツを指すことに留意されたい。
 ※現在のOECD加盟国は2021年5月のコスタリカの加盟で38カ国になったことから、各種比較も38カ国を対象としている。
 ※OECDは、加盟国のGDPや購買力平価レートなど各種データを随時過去に遡及して改定している。そのため、日本の労働生産性水準及び順位が昨年度報告書の記載と異なっている。
 ※円換算値は購買力平価レート(2022年:1\$=97.57円)を用いているが、端数処理の関係で左記レートで求めた値と末尾が一致しないことがある。

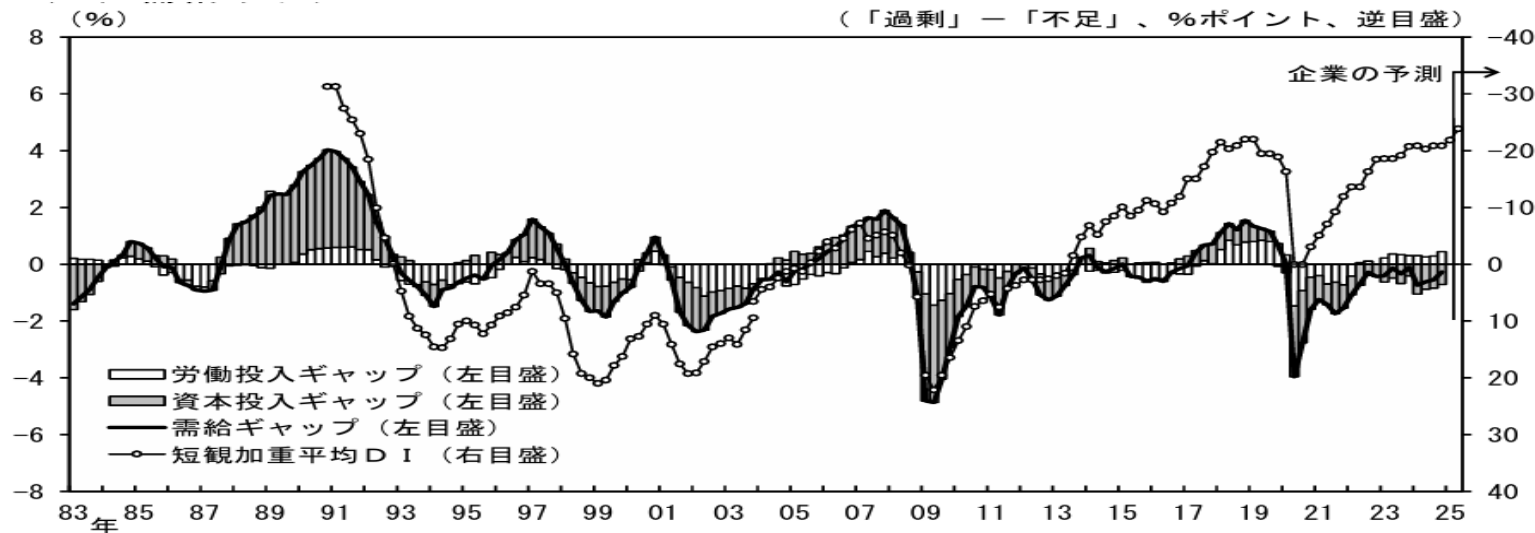
日本の労働生産性（投入した労働量に対する成果）が先進国の後塵を拝しているのは、ITなどでソフト面が弱いからです。また、独創的かつ論理的な発想力に欠如している問題もあります。これは「出る杭は打たれる」教育の弊害でしょう

国際競争力もなくなっていくなかで日本企業が利益を伸ばしていくのは厳しいでしょう

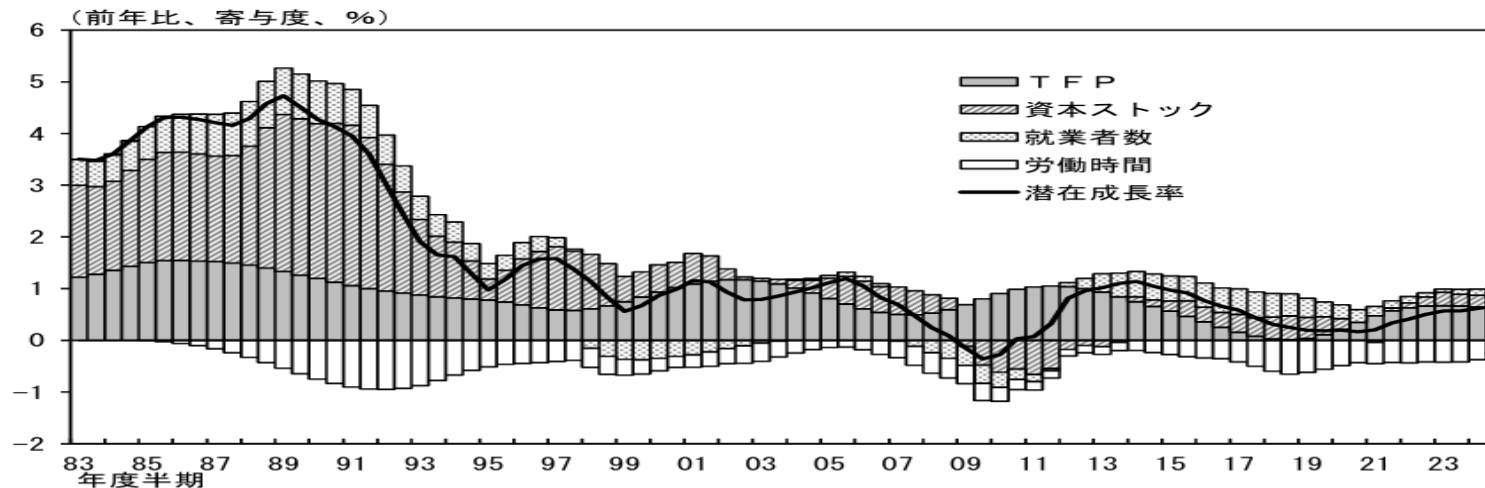


日本の需要不足と供給能力低迷が続く

日本の需給ギャップ（1983～2025年1-3月期）



日本の潜在成長率（1983～2024年）



- (注) 1. 需給ギャップおよび潜在成長率は、日本銀行調査統計局の試算値。
2. 短観加重平均DI（全産業全規模）は、生産・営業用設備判断DIと雇用人員判断DIを資本・労働分配率で加重平均して算出。なお、短観の2003/12月調査には、調査の枠組み見直しによる不連続が生じている。
3. 2024年度下半期は、2024/4Qの値。
(出所) 内閣府、日本銀行、総務省、厚生労働省、経済産業省

内閣府の17日発表によると25年1-3月期GDPを反映した**需給ギャップ**（日本経済の総需要と供給力の差）の推計値がマイナス0.2%でした。実質1兆円程度のマイナスです（年率換算）。需要不足が根強く続いていると分かります

潜在成長率（供給能力を示す）からは長期的な成長期待をみています。大きなネックは、やはり人口減です



不透明な租税支出と失われた30年

租税支出透明性指数の国別ランキング（2024年）

順位	国	100点中
1	韓国	76.1
2	インドネシア	73.4
3	カナダ	70.7
4	ドイツ	69.3
5	フランス	68.7
6	イタリア	66.9
7	ブラジル	65.3
8	ベルギー	64.7

16	ロシア	60.7
17	米国	60.2

73	日本	38.4
----	----	------

30年前と現在における日本国民の負担と所得比較

		30年前	現在	
消費税率	%	3%	10%	
社会保険料	円	35,820	67,125	
国民年金	円	11,100	17,510	
預金金利	%	7.0%	0.20%	
電気代	円/kWh	7.5	29.8	
大学授業料	万円	40	96	

国民所得中央値	万円	550	405	-26%
国会議員報酬	万円	1,610	2,187	36%
税収	兆円	30	72	

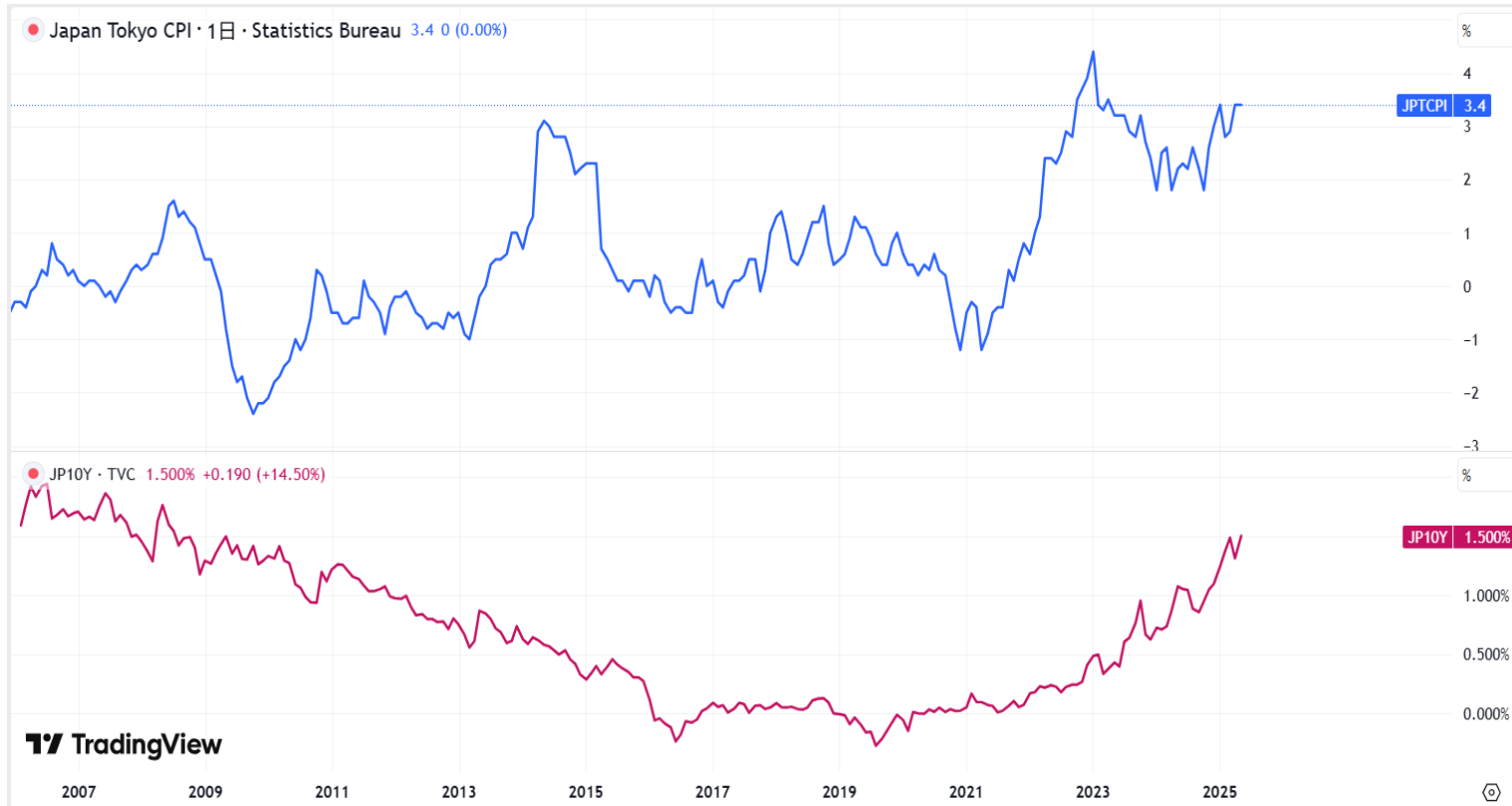
左表は**GTETI（租税支出透明性指数）**による国別ランキングです。日本の順位がこれだけ低いのは、利権政治の一面が出ているということです。裏金・中抜きなど不透明な支出が多すぎるということでしょう

右表は過去30年で日本の庶民生活がどうなっているかを端的に表したものです。生活が苦しくなっていくなかで国会議員の収入だけが突出して増えている異常な状況です



そして物価は上昇傾向に

東京都区部での消費者物価総合指数の前年同月比と10年物日本国債利回り（2006～25年）



日本全国ではなく
「東京都区部の消費者物価指数」の前年同月比に注目しているのは、先行性があるからです。足元で5月分総合指数（生鮮食品込み）が3.4%の上昇となりました

物価上昇率（インフレ）と国債利回り（長期金利）には、貨幣の現在価値が下がるため、正の相関性があります。足元のインフレで日本国債の利回りも上昇してきました。超長期金利も上昇していますので、日銀が保有する国債の含み損は30兆円規模に拡大しました

- (1) 総合指数は2020年を100として111.1
前年同月比は3.4%の上昇 前月比(季節調整値)は0.3%の上昇
- (2) 生鮮食品を除く総合指数は110.5
前年同月比は3.6%の上昇 前月比(季節調整値)は0.5%の上昇
- (3) 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は109.6
前年同月比は3.3%の上昇 前月比(季節調整値)は0.4%の上昇



売坊流OPトレード入門セミナー

7月19日(土) 10時～(オンライン開催)

不透明な時代、OPで運用の幅を広げてみたい方のために

特典1 受講前に『実践Q&A』を進呈、予習できます!!

特典2 受講後に『入門テキスト』を進呈、復習できます!!



講演内容(予定)

- 1. 日経225CALL売り戦略の基本原則**
なぜOPは「売り」が優位なのか
なぜ225OPは「CALL売り」が優位なのか
なぜ利益よりも確率なのか
- 2. 米国株OPとFX-OPの入門戦略**
米国株ホールド戦略
FXカバード戦略
質疑応答

Find Your Options!

資料の充実度、長年の研究の質の高さなどコスパの高いセミナーだと思いました

FAQがまとめられた資料、ありがとうございます!

セミナー
受講者の声



とてもよく理解できました。市販の本よりもタメになりました!

内容も大変良かったですが、特に一つひとつの質問に丁寧に答えているのが良かったです

売坊

検索

最後までご清聴、誠にありがとうございました。

OP売坊ブログ『実践オプション教室』

<https://www.jissennkop.blog.fc2.com>

OP売坊公式X『@OP49431790』

[https:// x .com/OP49431790](https://x.com/OP49431790)

Copyright © 2019-2025 OP売坊 / Pan Rolling Inc.

All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.

免責事項

- オプション倶楽部TV（以下「本動画」）で使用了た図表・数値などは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。
- 本動画に掲載された情報・図表・資料は、あくまで金融知識の向上と情報提供を目的としたものです。証券など金融商品の売り買いを提案・勧誘するためのものとして、また証券など金融商品について助言・推奨するものとして、利用・解釈しないでください。
- 本動画は一般向けに編集されています。特定の投資目的・特定の投資環境・特定の投資家を一切考慮していません。事前に専門家の適切な助言を受けるべきですし、最終的な投資判断は、個々人が個々の状況を考慮して、自らの責任で下すようにしてください。
- 本動画に基づく行為の結果、発生した障害・損失などについて講師およびパンローリング社は一切の責任を負いません。
- 本動画に記載されたURLなどは予告なく変更される場合があります。
- 本動画に記載されている会社名・製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。



OP売坊の無料メルマガ『グレイ・リノ通信』

売坊先生のYouTube動画を何倍にも楽しめる

解説資料の入手リンクや補足Q&A記事などを配信しています！



- ・ 日米**“実質”**利回り差とドル円の相関が高いのは、なぜですか？
 - ・ 裁定取引の**“手口”**から、どのようなことがみえてくるのですか？
 - ・ 日本銀行に**“暗黒の水曜日”**が起こり得るのは、なぜですか？
 - ・ 米国が陥っている**“政策金利のジレンマ”**とは、何ですか？
 - ・ 個別株を安く買いたいなら**“PUT売り”**が有効なのは、なぜですか？
- ……など



登録はオプション倶楽部のポータルサイト
<https://www.optionclub.net/>
でメールアドレスを入力するだけ!!

お気軽にご登録ください！



オプション倶楽部

検索



OP売坊の『オプション倶楽部TV (OPCTV) 』

水曜22時から YouTube で配信中!!

3つの視点で日本株・米国株・為替など市場を大きく揺るがしそうな材料を分析します

第1週目



政治経済
イベント分析

第2週目



グレイ・リノ
分析

第3週目



異常値分析

第4週目



ワンポイント
解説

※祝日や暦などで配信週が変更される場合があります。

ラジオNIKKEI月曜14時からの
『キラメキの発想』に出演した場合
その週の水曜配信は、お休みします



プレミアム公開です。チャット欄へのコメントをお待ちしています。私も参加していることが多いです！

専用ページ <https://www.panrolling.com/tv/opctv.html#/>